

地域安全を担った活動に幕



分列行進(元年度消防演習)



小隊訓練(5年度消防演習)



八幡平市婦人消防協力隊解散式

記念撮影(市婦人消防協力隊解散式)



応急手当訓練(5年度消防演習)

女性目線で防火の一翼担う 半世紀続いた地域貢献に幕

市婦人消防協力隊(隊長:石田美枝子安代地区隊長)の解散式は12月19日、市役所で行われました。

式には石田隊長や山村典枝西根地区隊長、鈴木京子松尾地区隊長、各地区の副隊長12人のほか、佐々木孝弘市長、安保義光市消防団長、佐藤裕弘八幡平消防署長が出席。あいさつで石田隊長は「長きにわたり続いてきた協力隊を解散することは断腸の思い」と、言葉を詰まらせながらこれまでを振り返りました。

また、佐々木市長は「市民の安心安全のため、火災予防の一翼を担い、活動を続けていただきました。皆さまのこれまでの献身的な活動に、市民を代表して心から感謝しま

す」と長年の地域貢献をたたえて労をねぎらい、感謝の意を示しました。

共助の活動を強化するため 自主防災組織結成を支援

協力隊は、自主防火意識の向上や相互の協力、火災のない地域社会の実現を目的に、旧西根町では昭和46年に、旧松尾村では昭和50年に、旧安代町では昭和47年にそれぞれ発足。以降、火災予防の啓発にとどまらず、消防団活動を側面から支援するなど、さまざまな面で大きな役割を果たしてきました。

そのような中、盛岡広域8市町全体を見ると、隊員数はここ10年で3割減少し、本市においても、隊員の確保が難しい状況が生じていました。このことから、本市協力隊においては、令和6年4月からは各地区の隊長などの役職付き隊員を除き、協力隊全体としての活動を休



佐々木市長(左)に協力隊旗を返還した石田隊長



市婦人消防協力隊隊長および同隊安代地区隊長を務めた石田美枝子さん=愛の山=

これまで、消防団とともに消防演習や消防出初式、防災訓練など行事への参加のほか、火災報知器の設置推進やチラシの配布など、地域の防火防災に務めてきました。女性の社会進出が進み隊員の選出が難しくなったこと、コロナ禍による隊活動の縮小による組織存続への打撃もあり、長きにわたり続いてきた協力隊を解散することは断腸の思いです。

これまでの隊活動で学んだ知識を、これからも地域防災のために生かしていきたいと思えます。

止。同年12月をもって解散することになりました。

今後は、自身が災害に備える「自助」や行政による「公助」とともに、地域内で相互に助け合う「共助」の活動を強化する必要があると見られます。市は、全世代が参加する自主防災組織が市内全域で結成されるよう、引き続き取り組んでいきます。